

上小っ子 校長室だより

2024年6月6日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

上郡町立上郡小学校 校長 森中 誠

先日、初夏のすがすがしい晴天の下、体育大会が行われました。コロナ禍以降、体育大会は午前中開催となりましたが、この時期の暑さにまだ慣れていない児童や教員、保護者の負担を考えると、今のこの形がよいのではないかなと思います。今年は、PTA競技の綱引きも行い、教職員も参加し、大変盛り上がりました。コンパクトながら、充実した学校行事が行えたように思います。参観していただいた保護者、学園の先生方、地域の来賓の方々、本当にありがとうございました。



さて、本年度より学校運営協議会（コミュニティースクール）が立ち上がりました。すでに山野里小学校は発足していて、本年度より上郡小と高田小がスタートしています。学校運営協議会とは、簡単に言うと「地域でどのような子どもたちを育てていくのか、学校と地域がその目標やビジョンを共有して教育を行っていく組織」のことです。上郡小学校には以前から、地域とのつながりがありますが、それぞれの組織と学校のつながりではなく、学校運営協議会という大きなテーブルでそれぞれの組織の代表が集まって話をして、子どもの教育を進めていこうというものです。学校ホームページにもう少しくわしく説明してありますので、ご覧下さい。

体育大会明けの5月最終週は、6年生が上郡町スポーツセンターでの水泳授業、5年生が田植え体験学習、3年生がモロヘイヤの苗の植え替え作業体験、6月に入ってから、特別支援学級は光都で



のチューリップ球根掘りなどいろいろな校外学習を行っています。いずれも地域で農業に従事しておられる方や上郡高等学校の先生や生徒さんの他、学校外の関係の方々のご協力があってこそこの活動です。あらためて感謝いたします。



コロナ禍でなかなかできなかった、直接、人と「つながる」、そしてそこから体験や学習を深めていくことが、これからの子どもたちにとって必要なことだと思います。スマホ、SNS、デジタル、AIなどなど、世の中の流行はめぐるしい速さで流れていき、会話も文字や画面の中ですまされることが多い時代です。直接人とつながり、上郡の良さをたくさん知って、地域を大事にする温かい児童に育ててほしいと願っています。